

T**BA**
鳥羽少年探偵団
きょうみ しんしん とば いろ
興味津々鳥羽の色。

第8期鳥羽少年探偵団報告書



20年度



指令：世界の真珠王の夢を探れ

はじめに

平成13年度よりスタートした鳥羽少年探偵団。中学教諭や一般市民扮する明智小五郎の「指令」に基づき、中学生が地域にゆかりのある人物や場所を探索します。生徒自身が地域の歴史を掘り起こし、教科書では学べない教材に触れることがねらいです。鳥羽市ゆかりの偉人について調査・体験学習を通して、その足跡を市広報などで地域に広めることで地域資源の一つとして活かしていきます。第8期目となる平成20年度は市内5中学校9人の団員と明智小五郎役を迎え7月に結成しました。今期は、世界ではじめて養殖真珠の発明に成功し、「世界の真珠王」と呼ばれた御木本幸吉を調査しました。

◇結団式

日時：平成20年7月27日(土)

場所：ミキモト真珠島ミュージアムホール

ミキモト真珠島真珠博物館ミュージアムホールで開催されました。結団式では、長岡中学校の勢力校長先生から激励の言葉をいただいた後、明智小五郎役の大木信幸先生から9人の団員たちに任命書が授与され、第8期少年探偵団が結成されました。団員たちはこれからの調査に向けて、それぞれの抱負を語りました。



◇第1回学習会



日時：平成20年7月27日(土)

場所：鳥羽城跡周辺、ミキモト真珠島

結団式に先がけて、顔合わせをかねて市内の御木本幸吉ゆかりの地や史跡を散策しました。豊田祥三文化財専門員の案内で、相橋にはじまり、二丁目大里にある御木本幸吉生誕の地、幸吉が幼少の頃狂言の称号をいただいたという賀多神社、九鬼家の菩提寺である常



安寺、初代少年探偵団が調査した江戸川乱歩のみなとまち文学館、鳥羽歴史ガイドセンターというコースをまわりました。賀多神社では「能面はいくら」、常安寺では、「九鬼嘉隆の末えいは」などの質問もでて、暑い中、幸吉や鳥羽を知る貴重な時間となりました。

任命式終了後、地球塾生と合同で学習会を行いました。地球塾講師の真珠博物館松月清郎館長から幸吉の生まれた時代は、安政5年で江戸時代であり、鳥羽城は健在で封建時代であったこと、その当時の鳥羽の様子、当時の寺子屋で受ける一般的な教えなど、資料をもとにお話をいただきました。

また、地球塾塾頭の南山大学目崎茂和教授からは、幸吉の青年時代のエピソードとしてシルビア号にまつわるお話や、地理学の視点から海図や江戸時代の海図について幅広くお話をいただきました。

お話を聞いたあと、御木本幸吉記念館を見学しました。記念館は、うどんや阿波幸の再現や、午前中歩いた鳥羽町の地図、幸吉の妻うめさんのこと、幸吉のコレクションなどテーマ別に構成され、午前中の調査や講義をより深めることができました。

団員たちは、幸吉が行った真珠の養殖と関係のある海に対して関心を寄せたり、幸吉コレクションの恵比寿像から違った側面を垣間見たり、いろいろなことに興味関心を持って取り組みました。最後に御木本幸吉の銅像前で写真を撮り、団員同士も打ち解けた雰囲気になり、第1回学習会を終えました。



◇第2回学習会

日時：平成20年8月16日(金)

場所：飛鳥Ⅱ、市民文化会館



午前9時30分、佐田浜栈橋に集合。この日は、豪華客船飛鳥Ⅱに乗船し、飛鳥Ⅱの歓迎セレモニーに参加しました。飛鳥Ⅱへはこの日が記念すべき日となるよう、「5粒の半円真珠」を用意しました。「5粒の半円真珠」の由来は、幸吉が世界で初めて真珠養殖に成功したときの数で、今期は、市内5中学から団員が集まっているので、その意味もこめています。

歓迎セレモニーでは、花束と「5粒の真珠」の贈呈をさせていただきました。団員たちは、少し緊張気味でしたが、飛鳥Ⅱの乗船に心を

弾ませていました。その後、船内を見学しました。船内は、高級感があふれており、プールや映画館、ショップなどの設備をみて、感嘆の声をあげていました。団員からは、「超高級ホテルみたい」「こんなところで旅ができるなんて」などの感想を述べていました。



午後からは、場所を市民文化会館の和室に移して、手習い体験をしました。幸吉の幼少時は、寺子屋で手習いをしたということから、その体験として子どもたちにとっては久々の習字に挑戦をしました。講師には、濱口巖先生をお招きし、幸吉の揮毫である「真寿」「知運命」を書写しました。

また、幸吉が影響を受けた人として、二宮尊徳、渋沢栄一について、松月講師からお話を聞きました。

夕刻、飛鳥Ⅱの出航にあわせて、リメンバー赤いハンカチに参加しお見送りをしました。みんな、午前中の思いを胸におもいきりハンカチをふっていました。



◇第3回学習会

日時：平成20年9月13日(土)

場所：ミキモト真珠島、志摩市



ミキモト真珠島ミュージアムホールに9時30分に集合。「幸吉と真珠」「真珠のしくみ」について松月講師からお話をうかがいました。幸吉が横浜へ行って初めて真珠を目にしたこと、その当時の真珠はとっても小さく薬用として使われていたことなど、実物を見せていただきながら説明を聞きました。その後、真珠博物館を見学して学習を深めました。

午後からは、志摩市に残る幸吉ゆかりの地を見学しました。磯部町にある天の岩戸、阿児町にある横山、真珠養殖記念碑、浜島町にあるミキモト真珠養殖場の風景をみていきました。時間の都合で、幸吉も出資をしたという志摩市にある深谷水道に行けなかったのが

残念でしたが、はじめて訪れる地に団員たちは、胸を弾ませていました。



◇第4回学習会

日時：平成20年10月18日(土)

場所：鳥羽市立図書館、鳥羽商工会議所カモメホール

午前中は、図書館にある会議室で、明智小五郎と大木先生とともに、これまでに行った調査のまとめをしました。よみがえってくる様々な出来事を反省や課題としてまとめるとともに、今後の目標を確認しました。

午後からは、地球塾と合同し、様々な取締役副社長横石知二さんのご講演を聞きました。横石さんは、葉っぱビジネスを通じて地域のおじいちゃんやおばあちゃんを輝かせています。そのプロセスやこれからさらなる目標に向かってのお話は、夢をつかむヒントがいっぱいでした。



◇第5回学習会

日時：平成20年11月7日(金)

場所：ミキモト真珠島



御木本幸吉生誕 150 年記念式典に参加しました。式典では、幸吉のおいたちやエピソードを交えたラジオ劇「御木本幸吉」を全員が配役に応じて朗読し、「みていてください。わたしたちは、幸吉が残っていたこの鳥羽の地を大切にし後世に残していきます。」と幸吉へメッセージ

を贈りました。

また、書道家澄翔さんといっしょに幸吉のことばである「日本中を公園にしたい」を一人一人が書いていきました。全体が書きそろった時は、感動の一瞬でもありました。その後、夢や希望を託したバルーンを天に向かってあげました。



◇第6回学習会

日時：平成20年11月15日(土)

場所：神奈川県小田原市

二宮尊徳を訪ねて小田原市に行きました。目的地の二宮尊徳記念館は、栢山というところにあり、小田原駅から6キロ強離れた北側に位置し、尊徳の生家の敷地内に二宮尊徳記念館があります。尊徳の生家の跡地はいつか人手に渡っていましたが、明治42年11月15日に御木本幸吉の寄付により買い戻され、それを記念して碑が建てられています。訪れた日が11月15日ということで感慨深いものがありました。

記念館においては、川瀬明德先生にご講義いただきました。二宮尊徳のビデオを視聴し、質問の応答、館内をご案内いただきました。ビデオは、金次郎の一生が描かれており、団員たちにもわかりやすかったです。川瀬先生は、団員からの質問に丁寧にご回答いただきました。記念館は、パネルや映像、遺品や古文書の展示などを、テーマごと（年代別）に構成されていました。記念館の横に、生家が復元されており、（県指定文化財）中に入って見学しました。生家の塀も幸吉の寄付によるということです。

その後、脇先生に周辺の史跡をご案内いただきました。このあたりは、「二宮」という姓が非常に多いと言われましたが、確かに右を向いても左を向いてもという感じでした。しばらく行くと「善栄寺」があり尊徳のお墓にお参りした。その後、



油菜栽培地跡、捨て苗栽培地跡をめぐり、記念館へ。



日時：平成20年11月16日(日)

場所：東京都北区飛鳥山



県外視察2日は、渋沢栄一を訪ねて、東京北区にある飛鳥山に行きました。JR王子駅からすぐのところに、飛鳥山公園があり、その一角に史料館があります。現在の史料館は、10年程前に今の青淵文庫から移ったものです。史料館では、学芸員の関根さんにお話していただき、ビデオを視聴しました。ビデオは、栄一の一生を生家のある埼玉県深谷市から始まりテーマごとに紹介されていました。その後、団員からの質問の回答を交えながら、館内をご案内いただきました。栄一は、500の企業に参画したといわれていますが、身近なところでは、「参宮鉄道」の名もあり団員たちは驚いていました。栄一は、「常に人が幸せになるように」という考え方が根底にあり、産業の復興に努めたり、社会事業として養育院などの施設にも幅広くかかわっています。その後、敷地内にある、青淵文庫と晩香廬を見学しました。最後に、中村団員と小久保団員からお礼の言葉を申し上げ締めくくりました。

なお、写真の撮影、掲載は、渋沢史料館の許可をいただいています。

◇第7回学習会

日時：平成20年12月23日(火)

場所：鳥羽市民文化会館、済生寺

これまでの学習会で御木本幸吉について調査を行ってきたことを、明智小五郎役の大木信幸先生とともに振り返り、思い思いにまとめていきました。

午後からは鳥羽3丁目の光岳寺にある御木本幸吉のお墓を訪ね、今期の報告を



しました。



◇第8回学習会

日時：平成21年3月7日(土)

場所：鳥羽商工会議所カモメホール

今期最後の少年探偵団の学習会は地球塾と合同で行いました。目崎塾頭からは、これから自分の目標を目指していくためのヒントや励ましの言葉をいただき、松月講師からは1年間で学んできたことを通じて今に活かせる考え方などをわかりやすくお話いただきました。



団員は、1年間を振り返って調査してきたことを、一人一人が発表しました。幸吉の真珠養殖成功には妻うめの協力が大きいのではないか。幸吉が思想面で影響を受けた渋沢栄一、二宮尊徳を調査することで、幸吉がどうして社会に貢献してきたかがわかった。など、それぞれの思いを感想として述べていました。

地球塾生からも団員に対して、この1年間でいろいろなことを学び、人の前で発表できるほど成長したことに自信を持ち、今後に生かして欲しい。とエールをおくっていただきました。

最後に解任式を行い、松月講師より探偵団活動の記録としてCDを贈呈していただき、今期の活動を終わりました。

